

2013年度 お仕事支援部の活動報告

2013年度のお仕事支援部の活動において、4月からスタートした地域密着型就労自立支援事業（以下「地域密着」という。）の影響（効果）が大きかったので、その活動状況と合わせて報告する。この事業は、「原則として55歳未満の日雇労働者に対し、適職分野での就職に結びつくように、能力、技術を獲得できる講習を開催し、訓練と密接に連携を図り、自立に向けた支援を行う。あわせて地域貢献に資することにより、地域住民の理解と協力を得られるよう努める。」（大阪市の募集要項より）というものである。

具体的には、自転車リサイクル・ビルクリーニング・園芸作業の3コースで実施している。手当及び賃金は日払いで、月9万円位である。参加者にとってより良い方向性を見つけるために、お仕事支援部や相談支援部とも連携をとりながら、事業をすすめていった。

1. 実績概要(2013年4月1日～2014年3月31日)

	2013年度		2012年度	対前年比
新規登録人数	168名	37 22%	157名	11名
新規登録者平均年齢	45.0歳	47.0歳	43.6歳	1.4歳
相談件数	621件	193 31%	724件	-103件
相談実人数	436名	47 11%	500名	-64名
常用就職実績	46名	18 39%	62名	-16名
常用就職者平均年齢	46.0歳	46.9歳	44.4歳	1.6歳

上の表は、2013年度のお仕事支援部の実績概要である。2013年度の全体の数字が左側の太字の数字で、その右側の数字は、地域密着に参加された47名（内新規登録者37名）の実績と割合である。新規登録人数は168名で前年の157名より11名の増加。内地域密着が37名（22%）であった。相談件数は621件で前年より103件の減少。これは、生活保護受給者の相談が減少した影響が大きいと考えるが、内地域密着が193件（31%）であったので、地域密着がなければ、大幅な減少になっていた。常用就職は46名で前年より16名の減少。これも、生活保護受給者の就職実績が前年の34名から16名に減少した影響が大きい、内地域密着は18名（39%）であった。

全体のデータ数が、大きくないので、利用者の動きや、一つの事業の受託が全体の数字に大きく影響する。利用者にとって、魅力のある事業展開が必要である。

右の表は、地域密着の実績と就職実績以外の支援内容の一覧である。社会人として最低限必要な住民票の設定や携帯電話の取得、銀行口座の取得、及び就職活動能力の養成等、基礎的な力がつくようなサポートを心掛けた。たとえ就職につながらなくても、自力での就職活動が可能になるし、就職活動へのモチベーションも上がると考えているためだ。

目に見える実績だけではなく、利用者が今後生きていくために必要な、人間力を高めるようなサポートが必要だと考える。今年度は、利用者の資

2013年度 地域密着の実績及び主な支援状況

項目	実績	備考
参加人数	47名	目標は45名 自転車17名、ビルクリ16名、園芸14名
平均年齢	48歳	自転車43歳、ビルクリ50歳、園芸51歳
住居確保者	21名	事業参加者全員が、野宿及びシェルター利用等から移行。内アパート入居者及び簡宿利用で住所設定をした人数。
延べ常用就職者	26名	清掃9名、特掃指導員7名、製造5名、警備2名、公園内作業1名、倉庫作業1名、飲食1名
実常用就職者	23名	
就労体験実参加者	13名	事業終了後の公園及び花屋「ボン」の就労体験参加人数。
生保移行者	4名	相談支援部による生保申請支援2名
住民票設定支援	17名	アパート13名、簡宿4名
携帯電話取得支援	8名	
銀行口座取得支援	7名	
生活支援	8名	金銭管理8名、服薬管理1名
障がい者手帳等取得支援	1名	
国民年金免除申請支援	1名	

格等の取得にも力を入れていきたい。また、行政への報告にも工夫が必要だと考えている。

次は、地域密着の取組みのひとつである、地域貢献活動について報告する。

2. 地域密着型就労自立支援事業の地域貢献活動の取組み（訓練事業）

- ① 萩之茶屋小学校と今宮小学校の登校見守り活動
- ② 地域内設置の花プランター植栽維持管理
- ③ 地域内の老人憩いの家や社会福祉会館等施設での清掃及び園芸作業
- ④ 萩之茶屋小学校の壁掛けプランターの植栽維持管理
- ⑤ 今宮小学校の花壇の植栽維持管理と除草作業
- ⑥ 萩之茶屋小学校と今宮小学校の体育館の清掃及びワックス掛け
- ⑦ 萩之茶屋小学校の西側南海電車高架下の落書き消し作業
- ⑧ 今宮小学校のガラス磨き
- ⑨ 萩之茶屋小学校の社会見学（自転車リサイクル）
- ⑩ 門松作製（ひと花事業との合同作業）



上記が主な地域貢献活動であるが、①の登校見守り活動において、1年間無事に継続できたことで、ある一定の評価は得られたと思う。その甲斐もあり、⑤、⑥、⑦、⑧の依頼を小学校からいただき実施した、参加者にとっても、良い訓練の機会になった。また、今年度は、自転車リサイクルの簡単な作業を、子供達の職業及び社会体験として実施できないかという声もいただいている。今年度も、こういう地域からの声を大事にし、できる限り応えられるようにしていきたい。こういう活動を通じて、地域とのつながりがひろがり、また、地域からの要望にこたえることが、参加者の自己有用感の醸成につながればと考える。

（参加者の声を一部紹介）

- ・登校見守り活動は、今までにない位新鮮だった。あいさつが、より身についた。
- ・清掃職希望なので、体育館のような広い場所も経験できて良かった。
- ・事業に参加して、職種転換をするきっかけになり、自分自身は良かった。
- ・プランターの花が気になるようになった。たばこのポイ捨てをしなくなった。
- ・ハローワークに行くのがイヤだったが、徐々に慣れて、すすんで行くようになった。
- ・「どうでもいいや」という気持ちが、仕事をするのが当たり前というようになった。

以上（米須稔）